

令和6年10月18日

県立相模原公園におけるインクルーシブな広場「ともいき広場」の整備について

1. 概要

県立相模原公園では、共生社会の実現に向けて、「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」の理念を踏まえ、誰もが一緒に遊べる遊具のあるインクルーシブな広場「ともいき広場」の整備に向けて、検討を進めている。

広場計画の作成にあたっては、障がいのある当事者や支援者等を構成員とするワーキンググループを設置し、計画作成の初期段階から当事者等の意見をお聞きし、ともに計画を作り上げていく手法を採用している。

2. 検討経緯

令和5年度

- ・ 7月25日 ワーキンググループ設置、第1回ワーキンググループ【資料2-2】

【ワーキンググループの構成員】

- ① NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
- ② NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
- ③ 県立相模原支援学校PTA
- ④ 県立相模原支援学校、
- ⑤ 県立相模原中央支援学校
- ⑥ 県立相模原公園指定管理者（(公財)神奈川県公園協会）

- ・ 9月22日～10月10日 アンケート①（当事者及び支援者等）
- ・ 11月1日～12日 インクルーシブな遊具体験会、アンケート②（利用者）
- ・ 11月8日 第2回ワーキンググループ
- ・ 2月16日 第3回ワーキンググループ

令和6年度

- ・ 4月23日 第4回ワーキンググループ
- ・ 8月7日 第5回ワーキンググループ

〔内容：遊具、休憩施設、サインなどの具体的な配置計画について〕

【資料2-3】

3. 今後のスケジュール（予定）

○令和6年度

- ・ 11月中 第6回ワーキンググループ（最終回）
〔内容：最終計画案について意見交換、最終計画案のとりまとめ〕
- ・ 1月～ 工事実施（既存施設の撤去、敷地造成、遊具の新設）

○令和7年度 広場整備完了、広場利用開始

※広場整備工事の財源の一部に「クラウドファンディング」の活用を想定

(参考) 県のこれまでの取組事例

① 県立湘南海岸公園(藤沢市)【R3.3完成】



事業期間:(R1)調査 (R2)関係者との対話、設計、工事
対話先:市)障がい福祉課、児童発達支援センター、
肢体不自由者児父母の会

② 県立あいかわ公園(愛川町)【R5.3完成】



事業期間:(R2)調査 (R3)関係者との対話、設計 (R4)工事
対話先:町)半原小学校教員
特定非営利活動法人フュージョンコムがながわ・県肢体不自由協会

③ 県立湘南汐見台公園(茅ヶ崎市)【R6.5完成】



事業期間:(R5)調査、関係者との対話、設計 (R5~6)工事
対話先:湘南幼児学園、汐見台キッズステージ、
白浜養護学校